

## 第22回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

### 1. 日時

平成25年12月12日（木） 午前10時00分～午前11時30分

### 2. 場所

箕面市役所 本館3階 委員会室

### 3. 出席者

#### (会長)

- ・箕面市副市長 伊藤哲夫

#### (副会長)

- ・大阪大学大学院工学研究科准教授 松村暢彦
- ・箕面市地域創造部長 広瀬幸平

#### (監事)

- ・街づくり支援センターみのお 清田栄紀
- ・箕面商工会議所専務理事 松出末生

#### (委員)

- ・大阪大学大学院工学研究科助教 猪井博登
- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 庄健介  
(代理出席) 都市交通計画部課長 八畠敦
- ・阪急バス株式会社取締役自動車事業部長 河崎浩一  
(代理出席) 自動車事業部副部長兼営業計画課長 野津俊明
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 越智啓伸
- ・みのおの交通を考える会 永田よう子
- ・粟生第二住宅自治会会長 川本幹雄
- ・自転車道ネットワーク公募市民 松木亮
- ・分科会の副分科会長 井上整
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士
- ・株式会社ジェット統括本部長 妹尾一男
- ・株式会社ビバーレコトビバーワールド 箕面船場統括マネージャー 米津秀春
- ・国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長 加納陽之助 (オブザーバー)  
(代理出席) 交通企画課専門官 森本正司
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官 (総務企画) 田中秀人
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官 (輸送) 藤本和往
- ・大阪府都市整備部交通道路室道路整備課参事 松江琢也
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 河合良治
- ・大阪府池田土木事務所参事兼維持管理課長 錦織慎
- ・箕面市みどりまちづくり部長 中井浩己
- ・大阪府箕面警察署交通課長 荒瀬公也

- ・箕面市健康福祉部長 小野啓輔
- ・箕面市子ども未来創造局長 大橋修二
- ・箕面市地域創造部鉄道延伸・まちづくり政策統括監 柿谷武志

#### (欠 席)

- ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 木村淳三 (オブザーバー)
- ・一般社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・東急不動産 SC マネジメント株式会社みのおキューズモール総支配人 友金聡
- ・学校法人大阪青山学園事務部経理課地域活動支援室課長 福田貴夫
- ・有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭
- ・箕面市市長政策室長 稲野公一

以上、委員 31 名のうち 26 名出席、オブザーバー 2 名のうち 1 名出席。

#### 4. 議 題

- (1) 規約の改正について
- (2) 本格運行、実証運行の状況について
- (3) 休日限定の実証運行について
- (4) その他

#### 5. 議事要旨

- (1) 規約の改正について

【原案どおり承認する】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○特になし

- (2) 本格運行、実証運行の状況について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○赤ルートと黄ルートが非常に伸びている。青ルートは若干伸び悩んでいるがどうなのか。

→青ルートに関しては、全体で見ると増えていないように見えるが、青ルートの東方面のバス停ごとに見ると利用者数は増えている。ただ全体を見ると前回改正前から比べると西の方面から箕面駅に上がらなくなった分、利用者が減っていると考えている。

○みのおの交通を考える会が実施したアンケート調査では、わざわざ日曜日にバスに乗って買物には行かないという意見が意外と多かった。また、平日に休日のルートがあれば使いやすいという意見もあった。利用者ニーズと運行目的が不一致しているのではないかと。

→利用目的に関する市民アンケート調査結果では、平日は通学・通院が多く、休日は買物が多いという結果も出ている。現在のルートは各拠点まわるといったようなルートになっている。ただ乗降調査では各拠点ではなく、買物が箕面駅前、かやの中央に偏っており、また路線バスを使い、千里中央等に行かれていると認識している。

- ⑤ルートの利用が少ないとのことだが、当初は、粟生団地と小野原との地域間をつなぎ、かつ、かやの中央につなげ利用を図ろうというものであった。まだ、5 か月足らずの利用状況であることもご配慮いただきたい。また、バスの遅延について今後も検討をお願いしたい。  
→バスの遅延についてはその他の案件で詳細等について議論する。

### (3) 休日限定の実証運行について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- 高齢化について、資料の中に10年後20年後の高齢化とあるが、10年～20年という長期の問題ではなく、3年、5年の短期、中期の課題として検討をして欲しい。
- 市民部会の意見として「実証運行を継続し改善が見られなければ廃止すると明言する」と記載があるが、やっても無理ならば廃止しても仕方ないというような意見であり、廃止を明言するという意味ではなかったはずだが。
- 市民部会では、乗り継ぎに関してのサポートや金銭面で乗らない方が応援する仕組みづくり等も考えるべきとの意見もあった。また、改善が見られなければ廃止とすると明言するというのは表現が強すぎるのではないか。  
→廃止も妥当ではないかという意見があったかと思う。廃止については、市民が主体的に利用者数増加に向けた改善策の行動を起こすことを前提に、もう1年実証運行を継続することとし、事務局としてはそれらの改善がみられなければ廃止すると明言させていただいた。
- 市民部会では、様々な改善策の1つとして改善がみられなければ廃止すると明言すれば市民の危機感が高まり、利用が促進されるのではないかという意見だったかと記憶する。
- 実証運行の継続を目標に、収支の改善を考えた時、利用者数を増やすしか方法がないというところが最も重要な問題ではないか。万全を尽くしたうえで改善がみられなければ、廃止と名乗するのも1つの策。例えば、寄付の財源の窓口を作るという策もある。また、利用者数の多い平日と合わせて議論することも考えられる。利用者数以外の選択肢も是非作っていただきたい。
- 寄付の窓口を設置することは可能なのか。  
→可能性はある。市には、ふるさと寄付金等もあるので検討していきたい。
- ルートの見直し案をみると、現行の⑤ルートがもの見事に無くなってしまった。粟生団地の住民としては納得いかないところがある。  
→現行の⑤ルートについては利用も少なく、バス停の利用者数が1人/日に満たない所も出ているので見直した。路線バス等もあり利用が少ないと思われる。今後、地域説明会等を通して地元の方に説明していく。

○市民部会で案を作っても結局、私達は自分が住んでいる周辺はわかるが、市域全体の把握はできない。各地域の方の意見をよく聞いて最終的に決めていただきたい。今後、パブリックコメント、地域説明会等を行いながら最終的に決定するのか。

→市域5箇所の説明会を予定している。ルートの見直し内容を説明すると共に市民の皆さんの支援、皆さんでバスを守っていくということをきっちり説明して伝えていく。

○もう1年の実証運行というのは何らかの制度や補助を利用するのか。

→次年度の社会実験についても国と相談しながらそういったことができるのか合わせて検討する。

○一部に路線の廃止があり、廃止又は休止の申請を出さなければならない。4月からの運行改正に間に合うのか。

→バス事業者と調整しながら、4月からの運行改正を目指す。

#### (4) その他

##### ・消費税の増税に伴う運賃改定について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○阪急バスはどう考えているのか？

→国土交通省の基本的な考え方に沿い、事業全体として108/105の増収におさまるよう、税金の転嫁分を新たに調整するという事で運賃改定一般路線について申請を出している。箕面市域では基本運賃は210円のところを10円アップし220円、以降1区増すごとに20円加算といった内容で現在申請している段階である。

→4月の消費税の改定に向けて、消費税の転嫁を分科会で議論するので、その結果を踏まえて次回の協議会で検討する。

##### ・遅延について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○阪急バスはどう考えているのか？

→15分、20分位の遅延は恒常的に発生している。車が多く、客の増加により乗降に時間がかかる。遅延時の対応で、環状線、終点が無い運行では代わりの車でバスの応援をさせるのは非常に難しい。中継地点をとり、ある程度遅延を吸収できるような手待ち時間等があれば非常に助かる。応援もしやすいので今後の見直しの参考にしていきたい。

○バスの方で解消する方法としてダイヤ改正やある時間の便数を減らす、ルートの見直し等という方法もあるので、再度、バス事業者を含め分科会でも検討していく。

○パターンダイヤを崩さず遅延を解消するのは難しい。ルートの変更も含め、もう少し知恵を出しながら分科会で議論すべきである。

→分科会で議論し、その結果を踏まえて次回の協議会で検討する。

・その他

○消費税の改定はこの場で決まるのかと思っていた。分科会で議論となったが料金は自由に決められるのではなく申請事項なので4月までに合わない可能性が高いが間に合うのか。

→料金改定については再度、次回の分科会等で料金改定をするしないを含め報告したい。2月末には次回の本協議会開催を予定しており、その際に議論し決定されれば4月1日には間に合うということバス事業者から聞いている。

以上